

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第18報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年7月29日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Coelastrum cambricum
(ケラスツルム)
緑藻綱

シノピウムは球形であり、たいてい32細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い截頭突起を出している。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius
(ノウプリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント
植物プランクトンは引き続き細胞数が少なく、その中で藍藻の種が見られるようになった。動物プランクトンは引き続き少なかった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Nauplius</i>	40

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪 虫 類	<i>Pompholyx sulcata</i>	40

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

(2) 植物プランクトン

平成14年7月29日

第18報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	20		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	20		
(藍) <i>Chroococcus dispersus var. minor</i> *	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis var. pusilla</i>	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	240		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	260		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	70		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	40		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	320		
(緑) <i>Scenedesmus sp.</i>	40		
(他) <i>Tetraselmis sp.</i>	10		
(他) その他の植物プランクトン	20		
(藍) 藍藻綱	51	4.7	15.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	0.9	1.1
(珪) 珪藻綱	20	1.9	0.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	500	46.3	51.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	470	43.5	30.5
(他) その他のプランクトン	30	2.8	0.3
総 細 胞 数	1081	総体積	8.71E+05
種 類 数	15	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

参考